

令和6年度 第2回学校評価アンケート結果

梅花の候、平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和6年度第2回学校評価アンケートを実施しましたので、結果と分析についてお知らせいたします。

令和6年度


京都市立京都京北小中学校

校長 高橋 秀延

〒601-0251 京都市右京区周山町中山 51

TEL 075-852-1133 FAX 075-852-1144





学校教育目標

自ら学び 共に励み 志をもって 未来を拓く 子どもの育成
～ かしこく やさしく たくましく ～

付けたい資質・能力

読解力

対話力

テキストを読み解く 考えをもつ
考えを交流し深める

人権意識

実践行動力

人権についての知的理解
人権感覚 実行する力

自己指導

自己調整力

自律 セルフコントロール
主体性 粘り強さ 調整

めざす生徒像

かしこく

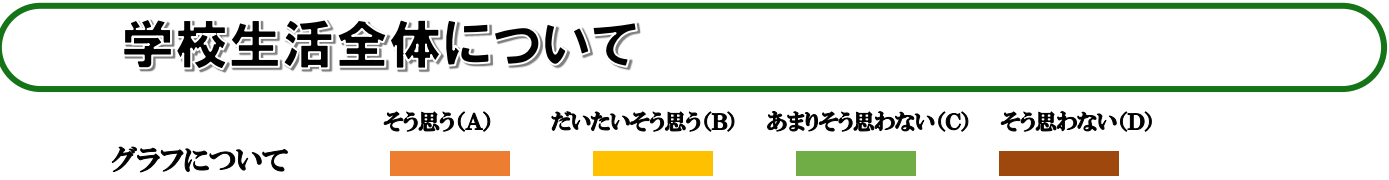
やさしく

たくましく

確かな学力を身に付け、志をもって、主体的に自己実現と問題解決に取り組む生徒

ふるさと京北を愛し、多様な価値を尊重する正しい人権感覚をもって、仲間と協働する生徒

心身の健康維持と体力向上に向けて努力し、調整しながら明るく粘り強く、しなやかに取り組む生徒



「1. 自分の決めた目標に向かって活動していますか」

生徒の A・B の回答から、おおむね目標に向かって活動していると捉えています。細かな数値には多少の変動がありますが、全体として生徒は目標に向かって努力しています。生徒の目標が形だけのものにならないように、教職員も定期的に振り返りをさせたり、改善点を見つけたりして取り組んでいます。これらの過程を通じて、生徒一人一人が目標達成に向けて着実に進めるよう、指導や支援を継続していきます。

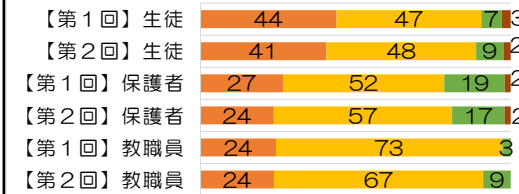
「2. 学校の取組は自分の役に立っていますか」

生徒の A・B の回答は 9 割程度を維持しています。4 年以上の学年については、リーダーや委員、生徒会役員などで責任をもって役目を果たす機会があります。また、2 学期は行事が多く、生徒たちはさまざまな取り組みの中で達成感や自己有用感の高まりを感じることができたことと思います。教職員は、生徒が主体的に活躍できる教育活動を計画し適切な場を提供するとともに、生徒の努力や成果を認める賞賛の言葉を積極的にかけていきます。

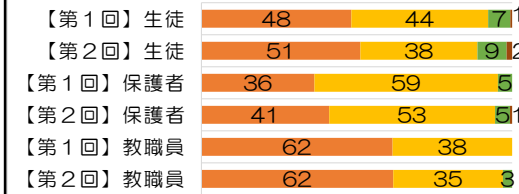
「3. 学校は楽しいですか」

多くの生徒は学校が楽しいと感じています。学習や行事、人間関係などが充実していることがその理由として考えられます。一方、C・D の回答をした生徒の中には、慢性的に学校が楽しくないと感じていることもあるかもしれません。全教職員が一丸となり、生徒一人一人に寄り添い、温かく見守ることで、生徒が「学校は楽しい」と心から思える環境づくりに努めていきます。

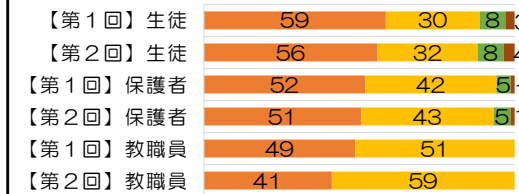
1.自分の目標（めあて）を決め、それに向かって活動していますか



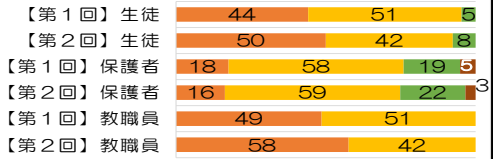
2.色々な学校の取組（行事も含む）は自分の役に立っていますか



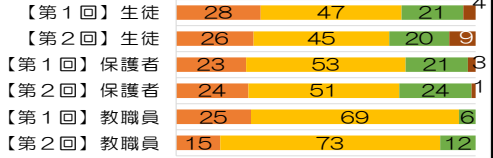
3.学校は楽しいですか



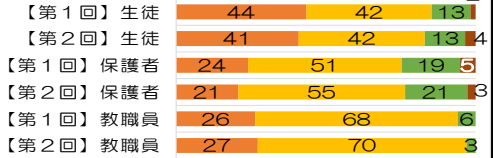
4.授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか



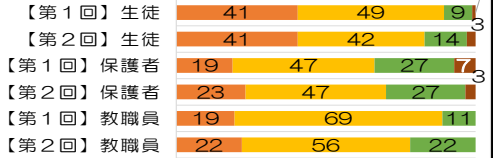
5.授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていきますか



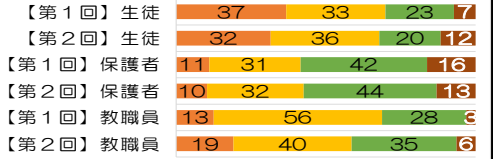
6.むずかしい課題でも、すぐにあきらめずにねばり強く取り組んでいますか



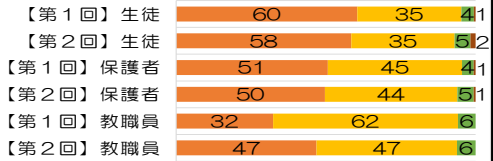
7.文章や資料などを読み解き、自分の考えをもてていますか



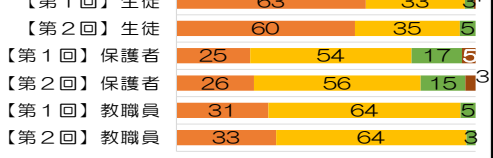
8.Kノートや予定表などを使って、計画して行動できていますか



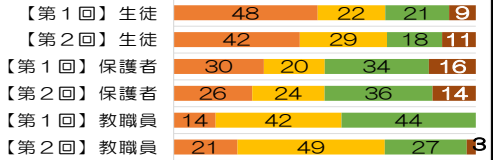
9.友達と話し合って学習することは、自分のためになっていると感じますか



10.タブレットのよさを正しく理解して、学習で活用できていますか



11.子どもは普段から学校や家で、読書をしていますか



確かな学力の育成について

「4. 授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか」

「5. 授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていきますか」

授業の様子等を見ていると、学年が上がるにつれて話を聞く姿勢が身についてきていると感じます。ただ「聞く」だけでなく「聞いて考える」という姿勢を育み、自分の意見を持ち、発言する力さらに伸ばしてほしいと考えています。「伝える」とは、単に自分が思ったことを話すだけではありません。考えを資料やスライドにまとめて分かりやすく伝えることも含まれます。後期課程の生徒には聞き手が聞きとりやすい声の高さや速さを心がけている生徒も見られます。共通しているのは、「相手意識」をもって伝えるということです。こうしたことに気付けるように指導していくことも、教職員の大切な務めではないかと考えています。生徒たちが「聞く力」と「伝える力」をバランスよく身に付けられるよう引き続き支援していきます。

「6.むずかしい課題でも、すぐにあきらめずにねばり強く取り組んでいますか」

A・B の回答をした生徒は 8 3 % でした。グループ学習や個人で取り組む課題などさまざまですが、教職員が達成に向けて適切なサポートをしながら指導している結果ではないかと捉えています。学年の発達段階に応じた励ましやサポートを交えながら、今後も指導していきます。

「7. 文章や資料などを読み解き、自分の考えをもてていますか」

生徒の 8 3 % が A・B の回答ですが、保護者・教職員の中には「十分読み解き、考えられていないのではないか」と感じることもあるようです。しかし一方で、グループ学習や個人作業、資料の読み取り等を通じて生徒たちの読解力は着実に培われています。9 年間を見据えて学年に応じた指導を進めていることが、学習確認プログラム（後期課程）や全国学力学習状況調査（9 年）で平均を上回ることにつながったのではないかと考えています。

「8. K ノートや予定表などを使って、計画して行動できていますか」

生徒、教職員で A・B の回答が減少傾向にあります。計画して行動することで時間管理だけでなく、目標達成の一助となることも期待できます。K ノート（スケジュール帳）や予定表を活用して、優先順位をつけて柔軟に計画を立て行動できるようサポートしていきます。

「9. 友達と話し合って学習することは、自分のためになっていると感じますか」

9 3 % の生徒が A・B の回答をしています。具体的には、議論や討論、問題解決学習、情報交換、内容確認、教え合い、作戦会議、認め合い、感想交流等を授業で行っています。これらの活動を通じて、生徒自身が学習効果を感じられるような授業計画を引き続き進めていきます。

「10. タブレットのよさを正しく理解して学習で活用できていますか」

生徒は学習で活用できていると感じています。使い方については、学習が効果的に行われるように適宜指導していますが、使用に関わってご家庭でもお気づき、お尋ねがありましたらお知らせください。

「11. 普段から学校や家で、読書をしていますか」

生徒の 7 1 % が A・B の回答をしています。しかし、学年が上がるにつれ放課後も部活動、家庭学習などで読書の時間を確保することは難しいかもしれません。読書には語彙力の向上や知識の習得をはじめさまざまな効果があります。世間で指摘されている「読書離れ」にならないためにも、読書の時間を大切にしていきたいです。

豊かな心の育成について

「12. 友達にいやなことを言ったりしたりせず、相手の気持ちを考えて行動していますか」

「13. 仲間がこまっていたら、積極的に助けることはできていますか」

多少の増減はありますが、どちらも生徒の90%以上がA・Bの回答でした。これは本校の誇れるよさの1つだと言えます。優しくされることの安心感や優しくすることによる幸福感が日々の学校生活で育まれていることがうかがえます。

日頃の様子を見ていると、友達が困っているときには「大丈夫？」と声をかけたり、自然な形で手助けをしたりする姿がしばしば見られます。生徒たちは互いを思いやり、助け合いながら、より良い学校生活を送ろうとしている様子が感じられます。

こうした安心できる人間関係や学習環境を整えるためには、学校として規律について適切に指導し、時には厳しく対応することも必要です。また、教育活動全般を通して、互いに支え合える集団作りができるように日々の教育活動に力を注いでいきます。

「14. おはよう、こんにちは等、進んであいさつはできていますか」

生徒の92%がA・Bの回答をしています。本年度は生徒会による「たてわりあいさつ運動」を行ってきました。少しずつ気持ちのよい挨拶をすることができるようになっていきます。時間をかけて挨拶の大切さや心地よさが伝わるようにしていきたいと思います。

「15. 自分のよいところに気付いていますか」「16」「17」も含め

生徒のA・Bの回答は76%と、第1回とほぼ同等の結果でした。保護者や教職員は生徒のよいところに気付いてはいるものの、生徒自身がそれを自分のよさとして認識できていない場合があるのかもしれません。また、自信のなさや謙虚さ、遠慮などから、よいところを褒められても素直に受け取れなかったり、自己評価が低くなったりしている可能性も考えられます。自分のよさを受け入れることは、自己肯定感を高め、「自分はこれでいいんだ」とポジティブな感情を持つ習慣につながります。これは、進路や将来のことを考える際、大きな手助けになると思います。教職員は、自然な形で伝えたり、素直に感心したりするような態度で生徒を温かく見守っていきます。ご家庭でも「よいところ」について話題にさせていただくことで、生徒自身が自分のよさをより実感できるきっかけになればと願っています。

「18. 相手に応じて、ていねいな言葉づかいができていますか」

生徒は93%が「できている」となり、A・Bの回答が前回より4%上がりました。授業で行う話し合いや発表の経験が公式な場での言葉づかいとして身についてきたのではないかと考えています。ていねいな言葉づかいは、礼儀や相手への配慮を示す上で重要な要素です。また、ていねいな言葉づかいを心がけることで相手との信頼関係を築いたり、トラブルを未然に防いだりすることにもつながります。今後も教職員自身が子どもたちと話すときの言葉づかいに気を付け、生徒たちのお手本となれるよう努めてまいります。

「19. 困ったことがあったときは先生に相談していますか」

生徒は79%がA・Bの回答と、第1回と大きく変わりはありませんが、Dの回答が増加している点が気になりました。これは、相談しにくいと感じているのか、自己解決できたためなのかは、アンケート結果からでは判断することはできませんでした。今後も温かく見守りながらいつでも相談できる環境を整え、生徒から相談があったときには耳を傾けていきたいと思います。

健やかな体の育成について

「20. 外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか」

1stステージでは中間休みや放課後の外遊び、2nd、3rdステージでは運動部で体を動かしています。厚生労働省（健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023）によると、子どもには1日60分以上の運動を推奨しています。学校でも運動の機会、環境を整えて、子どもたちが健康的な生活が送れるように心がけていきます。

「21. 早寝の習慣が身についていますか」

「22. 早起きの習慣が身についていますか」

「23. 朝ごはんの習慣が身についていますか」

「24. 好き嫌いをせずに食事をしていますか」

早寝については35%、早起きについては28%の生徒がC・Dの回答となっています。寝るのが遅くなっている主な原因は、家庭学習が長引いたり趣味や遊びに没頭したりしていることが挙げられるのではないのでしょうか。早起きは、寒さの影響で起きにくい日があるのかもしれませんが。学校での保健指導では睡眠時間について学習しますが、合わせてご家庭でもお声かけいただきますようお願いいたします。

朝食を食べる習慣については多くの生徒に身についているということが分かります。引き続き「けんこうの日」や長期休業明けの生活調べで、自分の生活が規則正しいものとなっているか見直す機会にしていきます。

食事の好き嫌いは、教職員のアンケート結果を見ると、A・Bの回答が97%となっており、給食の様子から偏食が激しい様子は見られません。お気づきのことがありましたら学校にお知らせください。

「25. ルールやマナーを守って安全に登校できていますか」

安全な登校ができるように、日々の見守りありがとうございます。今後も温かく子どもたちをサポートしていただきますようよろしくお願いいたします。

◎自由記述について

保護者の皆様より、行事、学習指導、設備、情報提供などについて貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。体育祭や文化祭の実施については、義務教育学校のよさを生かし、全学年で実施するようにしております。内容については、競技数や時間などを考慮し、プログラムを精選して構成しております。ご期待に沿えない点多々ありますが、ご了承いただければ幸いです。

学習については、各教科で年間に指導する時間が決まっておりますので、カリキュラムに沿って授業を進めております。授業進度や学習状況についてご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。また、学校からのお便りや担任、担当からの説明などは、できるだけわかりやすい言葉

でお知らせするよう心がけておりますが、ご不明な点がございましたらお尋ねください。いただいたご意見は全て教職員間で共有し、改善を検討する機会を設けておりますので、今後の改善に役立ててまいります。

◎学校運営協議会より

京北の温かいコミュニティが素晴らしいと感じています。他校ではスマートフォンの使用に関する問題が増えていると聞きます。学校では情報モラル教育を行っているので、SNSの利用時間やフィルタリングなど、大人も学ぶ場としてとらえ、適切な使用法を子どもたちに教えていくことが重要です。挨拶についてですが、来校の際にはよくしており、地域でも卒業生が挨拶をしてくれます。挨拶が定着してきていることを嬉しく思います。地域の行事では、子どもたちは一生懸命に取り組み、地域の一員として役割を果たしています。